

名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) 延面積	死傷者
小田急 OX 町田店	百貨店	昭和43年1月15日	耐火 ㄨ	全・㊦・部・小	死者 0名
		出火15時56分ころ 覚知16時02分 覚知別望楼(怪煙報) 鎮火19時16分	建 1,124.0 m ² 延 3,115.1 m ²	887 m ² (28%)	傷者 7名 (6)
東京都町田市 原町田6～12～20	(4)				

I 火災概要							
① 概要	成人の日の午後4時頃、1,000余名の客で賑わっていた小田急OX町田店の3階食堂厨房より出火し、厨房排気ダクトを介して3階部分887m ² を焼損したが幸い出火階が最上階であったことや、従業員等の適切な避難誘導等により一人の死者をださずにすんだ火災であった。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等
	R			遊技場	33		屋内階段 (消) (内) 2箇所 (自) (B1F～1F) 1箇所 救助袋 3階に1 箇所
	③	887.1	887.1	食堂, 事務室, 倉庫	172		
	2	965.0		売場	} 913		
	1	1,124.0		駅舎, 売場			
	B1	139.0		機械室, 変電室	5		
	合計	3,115.1	887.1		1,123	0	
	③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 3階食堂厨房内換気ダクト ○ダクト内部には、油かすの付着が相当みられた。 ○出火数分後にスイッチを切っているがダクトのダンパーは2箇所とも完全に密閉されていなかった。					

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 厨房内換気 ダクト</div> <div style="text-align: center;">(出火部位での拡大) ダクト内に付着 した油かす</div> <div style="text-align: center;">(周囲への延焼) ダクト周囲の 可燃物</div> <div style="text-align: center;">(他室への拡大) 天井側壁 内部</div> </div>			
	<p>厨房内換気ダクトに付着していた油かすに、何らかの火源が吸い込まれ、着火し約5時間燻焼した後発炎火災になったものと推定される。延焼経路は、ファンスイッチを切ったため外気が逆流し、ダクト内の油かす等が燃焼し、周囲の可燃物に延焼拡大し、天井、側壁等の内部を延焼拡大していったものと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 火元の厨房には全面的に油かすにじんでおり、食用油、ラード等が多量にあったため、これらに着火、急速に火面が拡大し、さらに隣接化粧品売場の引火製品が熱せられ爆発燃焼が起こり一挙に火勢が拡大した。 ○ 煙の伝播経路 煙は初期の段階では食堂内部に吹き込んでおらず、ダクトを通じて外部へ流れ出していたが延焼拡大とともに、カウンター内部に充満し、やがて食堂へ流れ出してくるとともに3階に充満していった。 			
II 火災建物概要				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (新築) 昭和34年 月 日 (改築) 昭和35年10月 日			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input checked="" type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> エスカレーターはシャッターで水平区画されている。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火管理者の選任届出はされている。 ○ 消防計画は提出されている。 ○ 防火管理者(店長)を隊長として各売場班長を定め、合計45名により、自衛消防隊を組織している。 ○ 総合訓練、部分訓練等よく実施されている。特に避難誘導には意を注ぎ実施している。 	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3階防火造増築部分を耐火造に改修すること。 ○ ダクトの立上り2・3階床貫通部に防火ダンパーを設置すること。 以上について消防署から勧告指導を受けている。 		特記なし	

III 火災後の行動						
① 発見 見 状 況	<p>○発見者 (従業員) ○発見の動機 (ダクトの周囲からの煙) ○発見後の行動 (初期消火)</p> <hr/> <p>出火した3階食堂に支店を持った店の従業員が、瞬間湯沸器上部の換気ダクトの周囲より煙の出ているのに気づき、責任者を呼び二人で見ているうちに瞬間湯沸器上部よりダクト内にはいる継ぎ目より赤い炎が見えはじめたので火事だと確認し、消火器による初期消火に努めたが効果はなかった。なお火事だという大声は出さなかった。</p>					
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input checked="" type="checkbox"/> (電話交換手) 出火後約(7)分 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>○第1報は望楼からの怪煙報である。 ○第2報として、小田急OX店の電話交換手からなされた。電話交換手A子は、交代のため事務室前に来たところ、お客が立っており煙が見えたのでさらに、厨房角まで来てみると、厨房内より煙がふき出していたので火事だと思い、すぐ交換室に行き通報するとともに、避難するよう店内放送を繰り返している。</p>					
③ 初 期 消 火 状 況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し た</td> <td style="width: 35%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 火災を確認して従業員5名が消火器にて初期消火に当たったが、効果なく延焼は拡大した。他の3名にて屋内消火栓のホースを延長したが、起動ボタンを押さなかったので水圧がなくこれも効果はなかった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し な い</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災を確認して従業員5名が消火器にて初期消火に当たったが、効果なく延焼は拡大した。他の3名にて屋内消火栓のホースを延長したが、起動ボタンを押さなかったので水圧がなくこれも効果はなかった。	消 火 し な い	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災を確認して従業員5名が消火器にて初期消火に当たったが、効果なく延焼は拡大した。他の3名にて屋内消火栓のホースを延長したが、起動ボタンを押さなかったので水圧がなくこれも効果はなかった。				
消 火 し な い	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○軌道敷地、鉄格子、無窓等により3方向からの進入が不可能で、防ぎょ進入路が著しく制限された建物であった。</p> <p>○特に初期の活動において濃煙により多数の呼吸器とポンペを必要とした。</p> <p>○濃煙のためダクト内の消火を要し、延焼経路となった天井側壁等は防火モルタル塗り、または難燃材となっているが、これら内部の木枠・ラス・繊維板等が燃焼し、破壊作業を伴う残火処理に長時間を要した。</p>					

	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
状況	屋上には家族連れの客が約30名と店員が3名いた。店員のFが線路寄り売店の裏から黒煙があがっているのを見て、屋上主任のSに知らせた。Sは火事だと直感、ただちに観覧車をとめ、子供達を降し、表と裏の階段から避難させた。3階食堂には約180名の客がいた。火災である旨の店内放送により店員は客の避難誘導にあたり3階表階段及び避難階段から避難した。1階、2階の店員も3階に上り客の避難誘導に協力した。	
⑥ 死者	健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 乳幼児 名 高齢者 名 身体不自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
状況	なし	
IV 問題点・教訓等		
1. 天蓋入口に防じん及び油粒子の吸入防止に有効なフィルターを装置し、これらのものがダクト内に滞留しないようにするとともに点検口を設け定期的に清掃する必要がある。 2. ダクトの塗装は防災塗料等を用い、またダクト周辺の可燃材に対する距離等についても考慮する必要がある。 3. ダクト内ボリュームダンパーの調整はダクトの長短大小等により吸引量が平均するように調整する必要がある、さらにダクト内分岐点において手動の防火ダンパーを設ける必要がある。 4. ダクトの強制吸引による排気ファンが停止してもある程度自然排気のできるよう考慮する必要がある。 5. 防火シャッター上部ボックスと梁の間から延焼経路となった。 6. 主要階段及び通路の防火シャッターには、避難上及び消防隊の進入を容易にするため、くぐり戸又は側面にドアを設ける必要がある。		

